

|      |      |       |             |
|------|------|-------|-------------|
| 新聞社名 | 山形新聞 | 発行年月日 | 2020. 8. 21 |
|------|------|-------|-------------|

山形キワニスクラブが「社会公益賞」

ひとり親支援団体に贈呈

社会奉仕団体国際キワニスの県内組織「山形キワニスクラブ」（和田広会長）が、子どものために地域活動を行う団体・個人を顕彰する「社会公益賞」を創設し、第1回贈呈先として、ひとり親家庭に弁当を無料

で提供した「食で山形を元気にするグループ」（工藤真一代表）を選んだ。贈呈式が20日、山形市のパレスグランデールで行われた。同グループは、山形市の▽Coco夢や（工藤社長）▽La Bellezza（安部公祥代表）▽お好み焼き家ふうふう（斎藤智英代表）の3店で組織。新



社会公益賞贈呈式で記念撮影する（左から）和田広会長、工藤真一代表、安部公祥代表、斎藤智英代表、笹原美喜夫副会長。山形市・パレスグランデール

型コロナウイルス感染拡大による営業自粛期間中の5月4～9日、母子家庭や父子家庭の食事を支援し家計を助けようと、1日20食限定で昼食を無償提供した。同賞は全国のキワニスクラブが社会公益のため人知れず献身する団体・個人を表彰し、世間に紹介しようと設けている。山形キワニスクラブは昨年2月に設立され、初の贈呈となった。

贈呈式には会員10人と工藤、安部、斎藤の3氏が出席した。笹原美喜夫副会長が功績を披露し、和田会長は「各店は外出自粛の影響で経営が厳しい中、子どもたちのための食事を無償提供し、私たちが大事にしたい思いを体現する活動だ」とたたえ、表彰状を贈った。3氏は9～11月も弁当計180食を提供しようと、8月末までクラウドファンディングに挑んでいることを紹介。それぞれ「ひとり親家庭は想像以上に大変。子どもに笑顔と元気を届けるため活動を続ける。ご協力を願います」などと謝辞を述べた。（菅原武史）